

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 石川 哲夫 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 日立市立坂本小学校

担当教諭名 寺門 深雪

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。
記

実施日時	平成 22年 1月 22日(金) 8:40 ~ 13:00
対象学年と人数	3年生 111名 4年生 139名 合計 250名
派遣講師名と出身国	オレリアン・パロン フランス イスカンダル・スリアント インドネシア ヌル・アクマル・ピンチ・ハニファ マレーシア 辺 学楠 中国
活動の内容	学年全体でオリエンテーションと講師紹介、簡単な自己紹介 国別に交流タイム 国旗 国の位置 特徴 習慣の違い 食べ物 学校や子供の生活 質問に対する答えなど
生徒・保護者等参加者の感想	・日本の気候と違い、いつも25 ぐらいということが分かった。じゃんけんのしかたやその意味を詳しく教わった。ありがとうやこんにちはなど基本的な言葉を教えてもらい楽しかった。もっと調べてみたい。(インドネシア) ・とてもおもしろい先生で楽しかった。写真や実物を見せながらの説明でよく分かった。小学生は教科書を持っていかないことや、フランスでも柔道に人気があることに驚いた。(フランス) ・食べ物や伝説を詳しく説明してもらった。学校は一日に2種類行くこと、給食はなく、お弁当や買って食べる事に驚いた。日本のアニメに人気があるそう。マレーシアに行って先生に聞いたことを体験し、みんなに伝えたい。(マレーシア) ・漢字は日本と同じだけど、その意味が違うことや、国の面積の大きいことや人口の多いことに驚いた。日本のアニメやタレントが中国でも人気があるそう。中国語を勉強し、中国に行ってみたい。(中国)
先生の感想	講師の方々それぞれに魅力のある方で、話す内容をきちんと準備され、小道具や映像、クイズ形式の問いかけなど工夫を凝らして分かりやすく説明して下さった。 児童も下調べを十分にして取り組んだので、興味深く熱心に聴くことができた。また、疑問に思っていたことが分かり満足そうだった。学校生活・日常生活や遊び、テレビ、アニメなど自分たちに身近な内容についての共通点や相違点に気づくことができた。 日本語が堪能な方ばかりで、連絡調整がメールや電話で滞りなくできた。(イスカンダルさんには当方の手違いで連絡が遅くなってしまいました…) 昨年度は活動時間が45分の設定で短すぎたとの反省から、1時間半にのぼして計画した。いすに座って聞いている時間が長かったので、児童によっては飽きてしまった様子も見られた。今後実施するときには、時間配分について検討が必要である。また、講師の方には、講話のほかに体を動かすゲームなどを取り入れていただくようお願いしたい。

